

8月25日、東陽町の第三セクター「東陽交流センターせせらぎ」の温泉、物産館、レストランなど5施設の延べ利用者が20万人を突破し、記念セレモニーが行われました。開業以来、1日当たり平均利用者数は約1200人で、オープンから約6カ月半での突破となりました。

東陽町の特産品であるショウガを使った料理を提供するレストランやアルカリ性単純泉の温泉、地元新鮮な野菜などが販売されている菜摘館などがあり、人気を集めています。

来場者20万人目となった七尾健一さん、貴代さん夫婦(大阪府豊中市)は、貴代さんの実家(鏡町)に帰省中、家族に勧められ、娘2人を連れて初めて訪れたとのこと。七尾さんご夫婦は、橋本社長から特産のショウガなどの野菜やお菓子、温泉入浴券などの記念品が贈られ、大変喜んでいました。

## 20万人突破！ 東陽交流センターせせらぎ



▲来場者20万人目となり、祝福を受ける七尾さんご家族(右)

## 明るい社会をつくる 第二中学校さわやかトーク



▶太田郷校区をあいさつする町にしよう  
と語る杉山保護司

8月24日、太田郷公民館で第二中学校さわやかトークが開催されました。今年で4回目を迎えたこの催しは、「地域とともに明るい未来に向かって～地域の方々とふれあいを通して～」をテーマに、青少年の健全育成を目指して開催されているもので、講演や生徒による職場体験の感想発表などがありました。

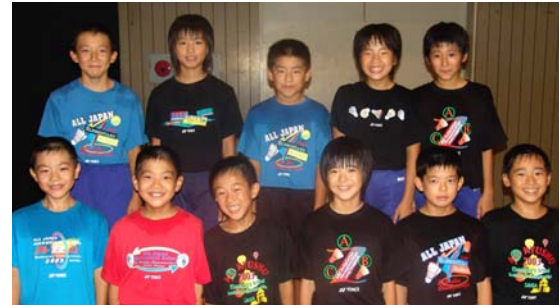
2年生による職場体験感想発表では、岩岡友望さんが「社会や地域のために働いている人のように、私もできることから行動に移したい」と語り、早田美里さんは「明るい社会をつくるために、今のうちから責任感をもって行動していきたい」と語りました。

## 目指せ！全国大会 全九州小学生バドミントン選手権大会県予選

9月3日、八代市総合体育館で全九州小学生バドミントン選手権大会県予選が開催され、市内の小学4～6年生が出場し、31人が11月に沖縄県で行われる九州大会への出場切符を手にしました。なかでも、坂本町では選手数が少ないにもかかわらず、八竜小学校や久多良木小学校の児童14人が入賞し、次の目標である全国大会に向け、練習に励んでいます。



九州大会の出場を決めた八竜小(上)や久多良木小(下)の選手たち



## もしものときも慌てずに！ 救急の日・救急医療週間イベント

9月4日、ゆめタウン八代で八代広域消防本部による「救急の日」および「救急医療週間」のイベントがあり、大勢の人で賑わいました。

特設のステージ上では、いつもは救急車に乗る隊員が、応急手当について身近な話題を取り上げた楽しいコントを披露しました。ほかにAED(自動体外式除細動器)の実演もあり、身を乗り出して熱心に見学する姿も多く見られ、救急に対する意識の向上に一役買っていました。



▲隊員たちのコントを熱心に観る多くの買い物客

## 体験って、お・も・し・ろ・い 夏休み子供体験教室

8月上旬、ぼたん観音で有名な鏡町の赤星公園で「夏休み子供体験教室」が開かれました。陶芸・パンづくり・茶道・キャンプの4つの教室に鏡町の4つの小学校から約150人が参加しました。

どの教室も子どもたちのきらきら輝く瞳や一生懸命取り組む姿に、講師やボランティアの人たちも、より一層熱心に指導していました。終了後、子どもたちからは「来年もぜひ参加したい」との声も多く聞かれ、夏休みの楽しい思い出がまたひとつ増えたようでした。



▶陶芸づくりに励む子どもたち



▶表彰を受けた5団体の代表  
(下段中央は木村八代市長職務執行者)

## 献血協力にねぎらい 日本赤十字社献血功労団体表彰伝達式

永年にわたり献血に貢献してきた八代市内の5団体に対して、日本赤十字社から感謝状などが贈られ、その伝達式が8月25日、市役所本庁市長応接室で行われました。表彰を受けたのは、次の団体です。

- ◆日本赤十字社熊本県支部長感謝状(協力年数10年以上)  
八代市太田郷校区婦人会、八代市八千把校区婦人会
- ◆銀色有功章(協力年数15年以上)  
八代ライオネスクラブ
- ◆金色有功章(協力年数20年以上)  
熊本電波(株)
- ◆日本赤十字社社長感謝状(金色有功章受賞後も10年以上協力)  
熊本県八代地域振興局

## いつもありがとう 千丁みどり保育園敬老の集い



9月2日、千丁みどり保育園で祖父母を対象に敬老の集いが行われました。

集いでは、園児の歌や肩たたきの後、クラス別の発表などがあり、この日を楽しみにしていた、おじいちゃんやおばあちゃんたちは、最後まで目を細めて見入っていました。また、園児から竹とんぼや紙風船などが手渡され、思いがけないプレゼントに笑顔がこぼれていました。